

態発生時においてステークホルダーへの影響を最小限に抑え事業復旧・継続をいち早く図るために行っているという。

「今後起こり得るさまざまなリスクを想定し、事業継続に必要な体制を構築する。これにより甚大な被害が生じた場合にも従業員の雇用確保と迅速に事業が再開できるよう、計画の策定や継続的改善を今後も目指す。また

災害発生時には、地域住民の皆さまと連携し社会に貢献できる体制作りにも努めたい」（機部社長）

レジリエンス認証とは、内閣官房国土強靱化推進室が制定した「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づき、レジリエンスジャパン推進協議会が事業継続に関する取り組みを積極的にを行っている企業などを認証する制度。

## レジリエンス認証 で「事業継続」取得

日本庄延工業

アルミニウムスラッグのトップメーカー、日本庄延工業(本社・滋賀県東近江市、社長・磯部正信氏)は31日、レジリエンスジャパン推進協議会の2021年度第3回「レジリエンス認証(国土強靱化貢献団体認証)」「認証審査で「事業継続」を同日付けで取得したと発表した。認証・登録番号はE

0000099。

業界では東洋アルミニウムが第2回認証審査で「事業継続及び社会貢献」を取得済みで、日本庄延工業はそれに続いての認証取得となる。

日本庄延工業は合金・純アルミスラッグ、冷間圧延アルミコイル、アルミ板(一般材)、インパクト加工品を製造販売している。BCPへの取り組みでは、事業活動に影響を及ぼす大規模災害や緊急事

